

WG4

地域産業の活性化

目的

大学・短期大学、自治体、企業が連携して地域産業を振興することにより、次の3点の達成を目指します。

- ①地域経済の活性化 ②雇用の促進 ③地域の若い世代の支援

目標(2020年度まで)

- ・地域産業活性化に係る自治体等との連携協定(2自治体以上)
- ・地域産業活性化に係る企業等との連携協定(4団体以上)

活動実績

連携協定の締結

(株)アーベルソフト、(株)セキ薬品、飯能信用金庫、(株)ベルク、(一社)リモート・センシング技術センター、TDU産学交流会

共同研修(共同FD・SD)

自治体や企業との取り組みについて、次の事例報告を行いました。

城西大学

丸広百貨店との取り組み

～木桂ゆずを使用したゼリーの商品化事例

女子栄養大学

鶴ヶ島市との取り組み

～サフランと県産野菜を使用したメニュー開発の事例

駿河台大学

地元材木業者・材木加工業者との取り組み

～西川材活用の事例

東京電機大学

地元生産者との取り組み

～武州ころ柿の再ブランド化の事例

地元企業を招いての業界セミナー(小売業編)

協定を結んだ企業のうち小売業界から、ベルク様とセキ薬品様を講師に迎え、学生向けのセミナーを実施しました。

5大学から就職活動を控えた学生が参加し、就活に向けてのイメージをつかむことができた等の感想が寄せられました。



今後に向けて

地域産業の発展は、地域経済の豊かさに影響を与えます。今後も自治体・産業界との連携を図り、地域産業のあり方を分析・研究するとともに、実施に移していきます。